



親子支援だより

10月号

令和4年10月13日(木)

浜松学院大学付属幼稚園

心の相談員 中島祐子

## ほっと通信



♡「ホッとひと息」ついて、「ホッと安心」したり、「ホット（あたたか）な気分」に包まれますように…。このおたよりは、日々大奮闘の親御さんへの心からのエールを込めて発行しています♡

付属幼稚園の皆さま、こんにちは♡

お月さまの美しい季節ですね！早速ですが、下記の文章をご一読下さいませ。．．（＾▽＾）

ある晩、息子と一緒に久しぶりに顔を出した三日月を眺めながらおやすみなさいをしていたら、「ぼくがおやすみなさいっていったら、おつきさまにかおができたよ！」と瞳をキラキラさせて言いました。「ほんとう？どんな顔してる？」と聞くと、何とも嬉しそうに「ニコニコって！」。よほど新鮮な発見だったのか、「ぼくがなんにもいわないときはかおでないんだよ」と真剣そのものでした。子どもって素敵だなあ、母親の役得だなあ。．．と感じたひとときです。

．．．これは、かれこれ26年前の長男の3歳の時に綴った文章です。独身時代にご縁あった幼児教育研究所の先生からご依頼を頂き毎月書いていた文章が、なんと最近ひょんなことで出てきたのです。もうすっかり記憶の彼方に置いていた長男のあの頃が蘇りました。そう！長男はなぜかお月さまが大好きで、3歳のクリスマスプレゼントにお月さまが欲しい！と言い、困り果てた私は、黄色のキルティングでお月さまを製作！！このぶきっちょで面倒くさがりの私です！！プレゼントの包みを開けてそれを見た時の、長男の何とも言えないとまどった面持ちが一気に思い出されほっこり。．．「我ながらよくがんばって作ったなあ～」としみじみした心持ちになりました。ちなみに、弟の名前は長男の切望で、『月』の字を入れました！さて、次のエピソードも長男との命をめぐるやりとりです。お付き合い下さい！

飼っていた生き物が死んでしまった時、お墓に埋めている時、こんな会話をよく交わします。「せみさんどうしてしんじやったの？」「神様がね、地上でのお仕事はもう終わりなんだよ。よくがんばってミーンミーンって鳴いたね、天国でゆっくり休みなさいって呼ばれたのだと思うよ」

「てんごくってどうやっていくの？」「体の中からたましいって一番きれいなものが出て行くんだって...」「ふ～ん、じゃあいませみさんのたましいがパタパタってとんでいってるんだね、このまえうめただんごむしさんといっしょにあそんでるかねえ...」「てんごくってどんなところなのかなあ...」（中略）この目に見えない世界への純粋な気持ちをいかに潰さぬようにするか、宗教の有無は関係ない。．．大人が子どもに学ぶ姿勢に尽きるのではないのでしょうか。

．．．こんな風書き残していたものを読み返すと、あらためて大切なことに気づかされます。長男の子育てについては、自分の未熟な子育てで悔やまれる思い出の方がずっとあると思いつきました。けれども、海底に沈んでいた宝もののような当時の文章に再会し、長男とのこんなに彩り豊かな日々が確かにあったのだなあ～、長男のピュアな感受性からたくさんの愛と感動をもらっていたのだなあ～と、悩み多き当時の日々にも明るい光が射し込んだ思いになりました。